

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門・高等部	学 年	2年	
教科等名	日常生活の指導	学習グループ（教育課程）	A（自立）	
ねらい	(知・技)日常生活の諸活動を身につける。 (思・判・表)規則正しい生活習慣を形成する。 (主)自立的な生活を意識して活動に取り組む。			
担当教員	教諭：松島理絵 森本健治 野畑慶匡 CG：大森美恵			
年間授業時数	189 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	個に応じた取り組みを行う。 排泄指導 摂食指導	15	○排泄指導 ◆オムツ替えの際に協力動作をできるようになる。(思・判・表) ◆排泄リズムの確立を図る。(思・判・表) ◆個々の生徒に合わせた排泄指導を行う。(思・判・表)  ○摂食指導 ◆安定した姿勢、呼吸状態で安全に水分の摂取や食事を行うことができるようになる。(知・技)(思・判・表) ◆安全に食事を行う為に、給食前に身体への取り組みを行う。(思・判・表) ◆口唇の動かし方等、適切な食事に関する動作を身に付ける。(主) ◆衛生管理に気を付け、安全に注入を行う。(主) ◆食後の衛生管理(歯磨き等)※個別対応歯磨きをしっかり行い口腔衛生を保てるようになる。(主) ◆介助者による歯磨きを受け入れられるようになる。(主)	・体調を十分に把握して日々の指導を行う。  ・外部専門家による摂食診断を適宜指導に反映させる。  ・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。
5		20		
6		20		
7		13		
9		19		
10		15		
11		17		
12		18		
1		14		
2		18		
3	16			

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		2 年	
教科等名		国語・数学		学習グループ（教育課程）		A（自立）	
ねらい		<p>（知・技）日常生活に必要な身近な言葉に慣れ親しみ、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>（思・判・表）物語や言葉が表す事柄をイメージしたり、受け止めたりする力を養い、人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつ。</p> <p>（主）言葉がもつよさを感じるとともに、図書や物語に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>					
担当教員		教諭：松島理絵 野畑慶匡 福島聡 CG：大森美恵					
年間授業時数		72 単位時間					
使用教科書		五味太郎・言葉図鑑⑥くらしのことば 偕成社					
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）			指導の工夫	
4	詩を感じよう	4	○お話（物語、俳句等）と再現活動。 ◆言葉のリズムや響き、数や量を五感で感じる。（主） ○図書館に行き、選んだ本を読む。（読み聞かせ）			・具体物を中心に用いて経験を深める。	
5	図書館に行こう 感じよう、やってみよう	6	◆自分や友達の選んだ本の読み聞かせをとおして読書に親しむ。（知・技） ○身近な物の名前・数唱・量などにふれたり、選択したりする。（知・技）			・生徒の実態に合わせて姿勢や教材の提示方法を考慮する。	
6	書いてみよう	8	◆具体物やカードを使って、数、形、量にふれたり、語彙を豊かにしたりする。（知・技） ○身近なひらがなやカタカナ、数字を見る、書く			・音や振動のする教材を用意し、興味・関心につなげる。	
7	感じよう、表現しよう	5	◆タブレット端末を使って、追視したり、なぞり書きをしたりする体験をする。（知・技） ○群読を聞く、声の重なりに興味・関心をもつ。 ◆体感して、感じたことを表出する。（思・判・表）			・実態に合わせて絵本の提示の仕方を工夫し、集中しやすいようにする。	
9	図書館に行こう お話や詩に親しもう	7	○図書館に行き、選んだ本を読む。（読み聞かせ） ◆写真本や大型絵本等、様々な本に興味・関心をもつ。（知・技）			・読み聞かせでは、声や身振りに変化を付けお話の世界の楽しさが伝わるようにする。	
10		4	○読み聞かせ（物語、詩等）と再現活動。 ◆言葉のリズムや響きを感じ、物語や詩を見たり聞いたり操作したりすることができる。（思・判・表）			・具体的な物を中心に用いてイメージを広げられるように工夫する。	
11	やり取りの中の言葉や数を感じよう まとまりの数	5	○教職員や友達と言葉のやり取りや物の操作をする。 ◆人と関わる定型のやり取りや経験を積み重ねながら、身近な言葉や数、形、量を体感する。（思・判・表） ○季節のカードや年賀状を書く。			・生徒の実態に合わせて姿勢や教材の提示方法を考慮する。	
12	季節の言葉にふれよう、書こう	8	◆タブレットでの追視やなぞり書きの後、ペンや筆等を持って紙や葉書に文字を書く。（知・技） ○図書館に行き、選んだ本を読む。（読み聞かせ）			・生徒の実態に応じて全体指導と小集団指導を行う。	
1	図書館に行こう 書道をしよう	5	◆自分や友達の選んだ本の読み聞かせをとおして読書に親しむ。（知・技） ○書きたい言葉を決めて、書道に取り組む。 ◆教職員とコミュニケーションを取りながら、自分の好きな言葉や書きたい言葉を決めて書く。（思・判・表）			・生徒の実態も考慮しつつ、友達と関われるよう座席配置等に配慮する。	
2	お話や詩に親しもう	7	○読み聞かせ、再現活動等。 ◆人と関わる定型のやり取りや経験を積み重ねながら、身近な言葉や数、形、量を体感する。（知・技）				
3	1年間の授業を振り返ろう	9	○1年間の国・数の復習 ◆1年を振り返り、現在と過去（昨日、今日、明日や去年、今年、来年等）をイメージする。（主）				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2年
教科等名	美術		学習グループ (教育課程)	A (自立)
ねらい	<p>(知・技) 色や形の違いなど造形的な見方について理解し、材料や用具を使って表す。</p> <p>(思・判・表) 色や形など造形的な良さや美しさを感じ取りながら、自分なりのイメージをもち、表現力を高める。</p> <p>(主) 美術の創造活動の楽しさや喜びを味わい、進んで活動に取り組む。</p>			
担当教員	教員：野畑慶匡 松島理絵 森本健治 CG：大森美恵			
年間授業時数	73			
使用教科書	科学シリーズ いっしょにつくろう 絵本の世界を広げる 手作りおもちゃ 福音館			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	【絵画】 季節の飾り	6	○春の飾りの制作 (共同作品) ◆にじみの技法を知り、絵の具の色が広がる様子の良さや美しさを感じながら、興味をもって制作する。(知・技) (主) (思・判・表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。</li> <li>・制作の導入では体感できる教材を使って活動へ意識を向けさせる。</li> </ul>
5	【デザイン】 色彩構成	6	○デジタル機器を使い、ドローイングした作品を再構成し、模様をデザインする。 ◆デジタル機器に触れることで色が変わったり、模様が描けたりすることを知る。(知・技)	
6		10	◆手や腕などを意欲的に動かす、使いたい色や形を選んで制作する。(思・判・表) (主)	
7	【絵画】 季節の飾り	5	○夏の飾りの制作 (共同作品) ◆腕や手を大きく動かすことによって、ローラーで絵の具を塗る感覚を味わう。(知・技) (主) (思・判・表)	
9	【立体造形】 塑像	8	○粘土で野菜や果物を制作する ◆野菜や果物の形の特徴を感じ取り、粘土の感触を味わいながら、形作る。(知・技)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が特徴を感じやすい野菜や果物を選ぶ。</li> <li>・扱いやすい粘土を用意する。</li> </ul>
10		6	◆自由な発想で色や模様をつける。(思・判・表)	
11	【絵画】 季節の飾り	6	○秋の飾りの制作 (共同作品) ◆紙を切ったり貼ったりして制作する。(知・技) (主) (思・判・表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。</li> </ul>
12	【絵画】 干支	6	○筆を使って蛇を描く。 ◆筆を持ち、描ける線に注目して描く。(知・技) (主) (思・判・表)	
1	【絵画】 季節の飾り	8	○冬の飾りの制作 (共同作品) ◆素材の感触を確かめながら制作する。(知・技) (主)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に合わせて、扱いやすい道具や画材を考慮しながら制作する。</li> </ul>
2	【工芸】 染色	8	○ハンカチや袋などを染める ◆布が染まる様子や活動に興味をむけて制作する。(知・技) (主)	
3		2	◆模様のでき方を試しながら、好きな模様を選んで染める。(知・技) (思・判・表)	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門・高等部		学 年		2 年	
教科等名		音 楽		学習グループ（教育課程）		A（自立）	
ねらい		(知・技)音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)音や音楽に気付きながら関心や興味をもって活動できる。 (主)音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。					
担当教員		黒田夢乃 松島理絵 野畑慶匡 福島聡					
年間授業時数		76.5 単位時間					
使用教科書		みんなであたおう ニュー・スクール・ソング(ドレミ出版社)					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導の工夫	
通年	はじまりとおわりの歌を歌おう 季節の歌にふれよう		○はじまりの歌・おわりの歌（通年） ◆授業の始まりと終わりを意識する。 ◆教員と一緒に歌い、順番に楽器を鳴らしていく。  ◆動画を観ながら、歌と歌詞のイメージを膨らましていく。(雪、桜、紅葉など)			・毎時間繰り返し学習することで、自発的に楽器を鳴らし、発声を引き出す。 ・	
4	楽器を鳴らそう	26	○鑑賞 ◆歌や映像に興味をもって聴いたり、身体を揺らしてみたり、意欲的にいろいろな音楽活動を体験しようとする。			・映像を効果的に使い、個々の興味関心や集中力を引き出す。  ・活動を楽しむ中で、生徒からの発声を引き出す。  ・個々の生徒に合わせた使いやすい道具。	
5			○器楽 ◆様々な楽器の音色を聴いたり、楽器を鳴らそうとしたりする。				
6			◆教員と一緒に楽器を鳴らしてみたり、自分なりの鳴らし方をしたりする。				
7							
9	楽器を鳴らそう 音楽に合わせて身体を動かそう	28	○器楽 ◆直接手や身体を使って鳴らし、補助具などを使用して自分自身で自発的に音を鳴らす。 ◆友達に注目したり意識を向けたりしようとする。 ◆集中して音を聴くことができる。気持ちを落ち着けて、音楽の響きを感じることができる。			・役割、順番交替場面や友達に注目される場面を設定する。  ・授業や友達の様子に注意を向ける働きかけを行う。  ・個々の発達段階に応じて細かな課題を設定する。	
10							
11							
12			○ダンス 「しかもと音頭」 ◆曲のリズムに合わせて、教員と身体の部位を動かすことができる。				
1	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	22.5	○器楽 ◆リズムを感じて教員と一緒に楽器を鳴らすことができる。				
2			○表現 ◆手話の動きで歌を表現することで、歌に関心をもつ				
3							

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2年
教科等名		保健体育	学習グループ (教育課程)	A (自立)
ねらい		(知・技)活動を通して、運動機能の維持、向上を図る。 (思・判・表)集団での活動を通して、友達や教職員とかかわり、コミュニケーション能力の向上を図る。 (主)身体を動かすことを楽しみ、主体的に活動できるようになる。		
担当教員		教員：野畑慶匡 松島理絵 森本健治 CG：大森美恵		
年間授業時数		74.5 単位時間		
使用教科書		保健室で見る本①からだをまもろう、動かそう (国土社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	準備体操 リトミック 課題走の練習	6	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを表現できる。(思・判・表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりと身体の動きを確認しながら行う。</li> <li>・個々に合わせて適切に設定する。</li> <li>・体重移動を感じられるようゆっくりと行う。</li> <li>・健康状態に合わせて活動時間を調整する。</li> </ul>
5	水泳指導	10	○課題走、ゲーム	
6		7	◆課題に応じて身体を工夫して動かすことができる。(知・技) ○水慣れ、浮遊	
7		4	◆水中で身体の緊張を緩めることができる。(知・技)	
9	水泳指導	7	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを表現できる。(思・判・表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態に合わせて活動時間を設定する。</li> <li>・体重移動を感じられるようゆっくりと行う。</li> <li>・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやってみせたりして、具体的に説明する。</li> </ul>
10	準備体操 球技(ティーボール)	6	○水慣れ、浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩めることができる。(知・技)	
11	球技(ハンドサッカー) 球技(ボッチャ)	8	○ボールを押し出す、転がす ◆道具を操作してボールに働きかけることができる。(知・技)	
12		6	◆ゲームを通して目標物や友達の様子に視線を向けることができる。(主)	
1	球技(ハンドサッカー) 球技(ボッチャ)	7	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを表現できる。(思・判・表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心地良さを感じられるようゆっくりと行う。</li> <li>・活動について事前に使う用具を見せたり大人がやってみせたりして、具体的に説明する。</li> </ul>
2	まとめの活動	5	○ハンドサッカー ◆目標物を意識してシュートできる。(知・技) ○ボールを押し出す、転がす ◆身体を工夫して動かし、ボールに働きかけることができる。	
3		5	○1・2学期の活動の振り返り ◆身体のいろいろな使い方を振り返り、楽しみながら身体を動かすことができる。(主)	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2年
教科等名		生活単元学習		学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		<p>（知・技）様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心を持ち、生活において基本的な習慣や技能を身に付ける。</p> <p>（思・判・表）季節行事などを通して自然の変化や季節、日本の文化を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。</p> <p>（主）繰り返し活動する中で自分の役割に気づき、身体を動かして役割を果たすことができる。</p>			
担当教員		教諭：松島理絵 森本健治 野畑慶匡 CG：大森美恵			
年間授業時数		110.5 単位時間			
使用教科書		しばわんこの和のこころ（白泉社）			
月	単元（題材名）	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	（年間をとおして）避難訓練の練習 野菜や植物を育てよう	8	○避難訓練の練習◆災害時のイメージ作り（主） ○屋外での栽培活動や収穫活動、屋内での観察や実験・作品作り（年間を通して行う） ◆外気に触れ、空気を身体で感じ土や植物（種・苗・果実等）に触れたり、自然や科学に親しむ体験や作品作りをしたりする。タブレット端末で写真を撮る。（知・技） ○社会見学の日にはちや内容、スケジュールのイメージ、期待感をもった準備活動、友達との振り返り ◆学習内容等に興味・関心をもって取り組む。また事後学習では当日を振り返る時間を持ち、友達と思い出を共有する。（知・技）		・季節や実生活を意識した多様で豊かな経験ができるようにする。天気や季節を考慮し
5	観察や実験・季節の作品を作ろう 社会見学に行こう	9	○水泳事前学習 ◆場所、注意事項、活動内容についてイメージする。（思・判・表） ○古新聞のリサイクル ◆素材に興味をもって触れて働きかけ、手指の巧緻性や目と手の協応性を高める。（主） ○図書館の利用の仕方を体験する。 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（知・技） ○屋外での栽培活動や収穫活動、作品作り ◆季節の変化を身体で感じ、土や植物に触れたり、自然に親しみ作品作りをしたりする。（思・判・表）		
6	プールの季節到来	1	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○修学旅行の日にはちや内容、スケジュールのイメージ、しおり作りなどの準備活動、事後学習 ◆学習内容等に興味・関心をもって取り組む。また事後学習では当日を振り返る時間を持ち、友達と思い出を共有する。（知・技） ○ミスプリント用紙のリサイクル ◆作業、仕事、係等の言葉を意識して取り組みながら、手指の巧緻性や目と手の協応性を高める。（主）		
7	リサイクル活動しよう 図書室に行こう 野菜や植物を育てよう 観察や実験・季節の作品を作ろう	11 8	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○修学旅行の日にはちや内容、スケジュールのイメージ、しおり作りなどの準備活動、事後学習 ◆学習内容等に興味・関心をもって取り組む。また事後学習では当日を振り返る時間を持ち、友達と思い出を共有する。（知・技） ○ミスプリント用紙のリサイクル ◆作業、仕事、係等の言葉を意識して取り組みながら、手指の巧緻性や目と手の協応性を高める。（主） ○外気に触れ草木の観察を通して、季節の変化を感じながら作品作りをする。 ◆季節の変化を身体で感じ、土や植物に触れたり、自然に親しんだりしながら作品作りをする。（思・判・表）		・生徒の表情、発声、発語、言葉などを丁寧に聞き取り表出で応える過程を通して、コミュニケーション力を高める。  ・手を使った活動では、肘を支えたり、道具を一緒に握ったりして支援し自分のできることを増やし、達成感を味わえるようにする。  ・タブレットを使って、写真を撮ったり、写真を見たりする時間や場面を設定する。
9	図書室に行こう 修学旅行に行こう	11	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○修学旅行の日にはちや内容、スケジュールのイメージ、しおり作りなどの準備活動、事後学習 ◆学習内容等に興味・関心をもって取り組む。また事後学習では当日を振り返る時間を持ち、友達と思い出を共有する。（知・技） ○ミスプリント用紙のリサイクル ◆作業、仕事、係等の言葉を意識して取り組みながら、手指の巧緻性や目と手の協応性を高める。（主） ○外気に触れ草木の観察を通して、季節の変化を感じながら作品作りをする。 ◆季節の変化を身体で感じ、土や植物に触れたり、自然に親しんだりしながら作品作りをする。（思・判・表）		
10	リサイクル活動しよう	8	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○新年を感じながら書道に親しむ。 ◆書初めをとおして、年の初めを感じる。（思・判・表）		
11	季節の草木にふれよう 観察や実験・季節の作品を作ろう	9	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○新年を感じながら書道に親しむ。 ◆書初めをとおして、年の初めを感じる。（思・判・表）		
12	図書室に行こう	12	○読書活動 ◆読書室に行き、その造りや環境を感じたり、タブレットを使って本を借りる体験をしたりする。（思・判・表） ○新年を感じながら書道に親しむ。 ◆書初めをとおして、年の初めを感じる。（思・判・表）		
1	書き初め	8	○新年を感じながら書道に親しむ。 ◆書初めをとおして、年の初めを感じる。（思・判・表）		
2	リサイクル活動しよう	11	○牛乳パックを使って紙漉きをする。 ◆係分担をして取り組みながら、手指の巧緻性や目と手の協応性を高める。（主）		
3	卒業生を祝おう	10	○卒業生にお祝いメッセージカードを書いて届ける。 ◆紙漉きで作った葉書を使ってカードを作り、お世話になった先輩にメッセージを書いて渡しに行く。（知・技）		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	2 年
教科等名		特別活動・ホームルーム活動		学習グループ（教育課程）	
ねらい		(1) 学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く。 (2) 活動を通じて行事への見通しをもつ。 (3) 友達や教職員とのコミュニケーションを広げる。			
担当教員		教員： CG：			
年間授業時数		40 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	高2年生のスタート	14	○2年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係り活動決め等 ◆今年度の活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く活動を設定する。</li> <li>・行事に合わせた活動を設定する。</li> <li>・個々の自主性を引き出すために、活動内容を生徒が決める機会を設定する。</li> </ul>	
5	体育発表会に向けて		○体育発表会に向けて練習や準備を行う。 ◆本番に備えて期待感を膨らませる。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。		
6	レクリエーション活動		○ペーパー相撲等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。		
7	修学旅行に向けて（事前学習）		○修学旅行に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係等を決める中で宿泊の見通しをもつ。		
9	修学旅行に向けて（事前学習、事後学習）	15	○修学旅行に向けた準備、事後学習をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係り等を決める中で宿泊への見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。		
10					
11	レクリエーション活動		○季節の行事、ジェンガ、坊主めくり、すき焼きゲーム等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。		
12	学期のまとめ		○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆次学期につながる振り返りを行う。		
1	レクリエーション活動	11	○季節の行事、ジェンガ、坊主めくり、すき焼きゲーム等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。		
2	1年のまとめ		○一年間の学習活動、個人の成長を振り返る。 ◆今年度を振り返ることで次年度に繋げる。		
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	2 年
教科等名		自立活動	学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		<p>(知・技)健康を保持し、基本的な生活習慣を形成し、元気に学習を続けることのできる基礎的体力をつける（健康の保持）</p> <p>(知・技)日常生活に必要な身辺処理に関する動作や学習のための動作を身に付ける</p> <p>(思・判・表)学習を通じて、教員との一対一のかかわりを深める中で、心理的安定を図り、コミュニケーション能力を高める(情緒の安定、コミュニケーション)</p> <p>(主)身体のリラクゼーションや運動・動作を通じて体の変形、障害の進行を防止する(健康の保持、身体の動き)</p>		
担当教員		教員：松島理絵 森本健治 野畑慶匡 CG：大森美恵		
年間授業時数		458 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	(通年) 個に応じた課題の取り組み	35	○衣服の調節 ◆衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自分のできる範囲で行うことができる。(知・技)	・生徒の体調を、十分に把握して、日々の指導を行う。
5	健康の保持 身辺処理	48	○水分補給(思・判・表) ◆適切な水分を摂取する方法を身に付けることができる。(知・技)	・必要に応じて、検温や聴診など保健室と連携して、丁寧に健康観察を行う。
6	からだの取り組み	49	○カップの準備や後片付けなどに取り組むことができる。(知・技)	
7	コミュニケーション	33	○リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図ることができる。(思・判・表)(主)	・季節によって、加湿器やネブライザーを使用して取り組む。
9	個別課題	46	○排痰の取り組み ◆加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促し、健康の保持に繋げることができる。(知・技)	・補助具や写真カードを使用して、生徒が自分から活動できるようにする。
10		36	○歩行(介助歩行) 適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図ることができる。	
11		42	○立位(立位台等の利用) ◆姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図ることができる。(知・技)	・生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。
12		46		
1		34	○ 教具等の操作練習 ◆ 手指の操作性や目と手の協応性を高めることができる。(知・技)	・生徒の興味をもてるような題材を設定し、教材を工夫する。
2		42	○ コミュニケーション活動(思・判・表) (個別課題、読み聞かせ等)	
3		37	◆ 個に応じたコミュニケーション手段の確立を図ることができる。(思・判・表)	